

# 紫波町家庭バレーボール競技規則

## 第1条 施設と用具

### 第1項 コートの大きさ

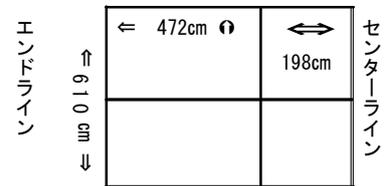
コートの大きさは1,340 cm×610 cmとする。(バドミントンコート(ダブルス)を準用する。図1

### 第2項 ネット

ネットの高さは男子2 m 15 cm、男女混合と女子が2 mとする。

### 第3項 ボール

ビニール製で重さ45～50 g、円周78±1 cmとする。



## 第2条 競技者

### 第1項 チーム

競技者は4名とし、交代競技者を含め8名以内とする。

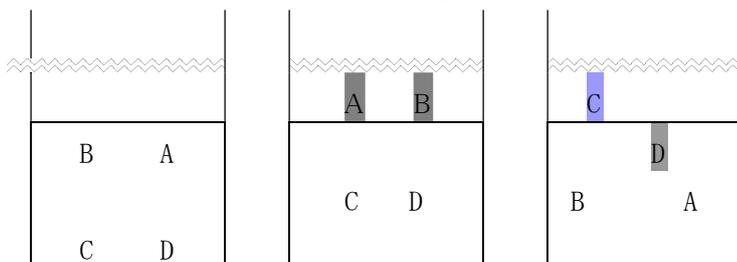
### 第2項 選手交代

- ① 1セット以内に3回(3人)まで出来る。
- ② サービス続行中のサーバーの交替はできない。但し負傷等によりサービス続行が不可能と主審が認めたときはこの限りではない。
- ③ メンバーチェンジによってコート外へ出た選手は1つのプレーが終了(ボールデット)しなければ再びコートにはいることができない。

## 第3条 競技

### 第1項 位置

- ① サービスの時、2チームの選手は、おのこのコート内に2名ずつ2列に位置する。ただし、選手は前後左右のポジションを守ること。
- ② サービスが行われたら、各プレーヤーは味方コートのどこに動いてもよい。ただし、後衛の選手はアタックラインより前でネットより上にあるボールにふれて相手に返球してはいけない。但しバックアタックは可とする。



(例1)

(例2)

- ・ (例1) AとBが前衛の場合、BがAの右にいてはいけない(左右の関係)
- ・ (例2) CがBの前、DがAの前に出てはいけない(前後の関係)

○（例 1～2）は全て間違っているポジションの取り方です。

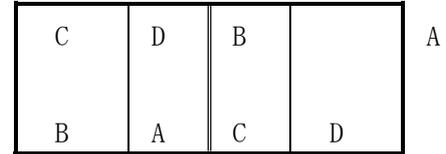
○選手のサービス順は A、B、C、D の順となる。

## 第 2 項 ローテーション

①最初のサービスの時、各競技者は図 2 のように位置しなければならない。

②サービス権がきたチームは時計回りの方向に 1 人ずつ位置を移動する。

図 2 レシーブ側 ← → サーブ側



## 第 3 項 勝敗

①今大会は 3 セットマッチの 15 点先取、ラリーポイント制とすして、デュースはなしとする。

②リーグ戦で同率の場合は次によって勝敗を決定する。

ア) セット率 = 取得セット数 / 喪失セット数

イ) 得失点率 = 総得点 / 総失点

## 第 4 項 サービス

①サービスは 1 回とする。

②サーバーは自陣のエンドラインの後方からオーバーハンドまたはアンダーハンドで自チームにサービスを出し、サービスを含め 2 回で相手方コート内に打ち込む。この際 2 回目に触れるプレーヤー及び相手チームの選手の手がネットを越えてはならない。越えた場合は相手チームの得点とする。

③サーバーは、後衛右端に来た者とする。

④サービスの瞬間には、サーバーの両足の一部は床面についていなければならない。

⑤前方へ 2 歩以上踏み出して行われたサービスはランニングサービスとなり、反則となる。

⑥第 2 セット以降のサーブ権は、前のセットの最後にサーブした反対チームが得る。

## 第 5 項 プレー

①各チームはネットを境に別れ、ボールを落とさないようにネットを越して打ち合い、ボールを 3 回以内で相手方に返さなければならない。ただし、ボールがネットに触れた場合はもう一度プレーすることが出来る。したがって、この場合は 4 回をもって最大限とする。

②同一プレーヤーが続けて二度ボールに触れてはならない。ただし、ボールがネットに触れた場合はもう一度ボールに触れることができる。

③タイムアウトは 1 セット 1 回（30 秒以内）とし、監督が要求する。

④セット間の競技停止時間は 2 分間とする。

## 第6項 反則

次の場合、チームは相手側に1点を与える（ポイント）

- ① サービスを失敗したとき。
- ② 味方コートにボールが触れたとき。
- ③ オーバータイムス（ボールに4回以上触れたとき）。
- ④ ホールディング（プレー中、ボールを制止させた）。
- ⑤ ドリブル（同一プレーヤーが続けてボールに2回以上触れた）。
- ⑥ タッチネット（ネットに触れた）。
- ⑦ オーバーネット（相手コートのネットを越えてボールに触れた）。
- ⑧ インターフェアア（危険なプレーまたは相手のプレーを妨害した）。
- ⑨ ラインクロス（エンドラインを踏んでサービスを出した）。
- ⑩ アウト・オブ・バウンズ（ボールがコート外に出た、または物に触れた）。
- ⑪ ディレーイング・ザ・ゲーム（意識的な態度でゲームを遅延させた）。
- ⑫ バックプレー（後衛の選手がアタックラインより前でネットより上のボールに触れて返球した）。

## 第7項 試合の棄権および没収

- ① 試合の棄権および没収となったときはセットカウント15：0、ゲームカウント2：0とする。
- ② 主審から競技するよう指示されながら、それを拒否したチームは没収される。
- ③ 試合中に選手が負傷等により試合が続行できなくなった場合、交替選手がいないとき若しくは選手交代をそのセットに3回（3人）行っていたときは、そのチームはゲームの敗者とする。セットカウントはいずれも15：0、ゲームカウント2：0とする。